



令和4年度千葉県赤い羽根共同募金助成事業

0.1.2.3 歳児が出会うはじめてのおしぼい

「みんなでいっしょにダンスあそび」



「なんだろな？なんだろな？」

♥はぐくみの杜君津赤ちゃんの家

2023年8月29日（火） 10:00～10:20 10:30～11:20

プログラム：みんなでいっしょにダンスあそび

パフォーマー： 安西真幸

♥乳児院イーハトーブ

2023年10月11日（水） 10:00～10:40

プログラム：なんだろな？なんだろな？

パフォーマー：うさぎの森企画 大森靖枝

♥聖愛乳児園

2023年10月30日（月） 10:00～10:40 10:50～11:10

プログラム：みんなでいっしょにダンスあそび

パフォーマー：安西真幸

主催：特定非営利活動法人子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉市中央区新千葉 2-17-6 サンコート新千葉 102 号

TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263

E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp URL <https://chiba.gekijou.org/>

●目的

- ①乳児院の乳幼児に対し芸術的な手法でのワークを行い、豊かに生きていくための非認知力の形成や成長発達を促す機会とし、施設での遊びの豊かさにつなげていく。多様で豊かなあそびや文化にふれる環境や機会に格差がない環境づくりに寄与する。
- ②乳児院の子どもたちの生活を支えている保育士やスタッフも一緒に楽しんで笑顔になり、日常の遊びやコミュニケーションの手法に取り入れられるよう参加を働きかける。
- ③県内3か所の乳児院へ施設の費用負担の少ない形で届ける。

●実績

実施場所	月日	内容	講師	参加人数
はぐくみの杜君津赤ちゃんの家	8月29日	みんなでいっしょにダンスあそび	安西真幸	乳幼児 12人
				保育士 11人
乳児院イーハトーブ	9月29日	なんだろな？ なんだろな？	うさぎの森企 画大森靖枝	乳幼児 12人
				保育士 12人
聖愛乳児園	10月30日	みんなでいっしょにダンスあそび	安西真幸	乳幼児 11人
				保育士 6人

●成果

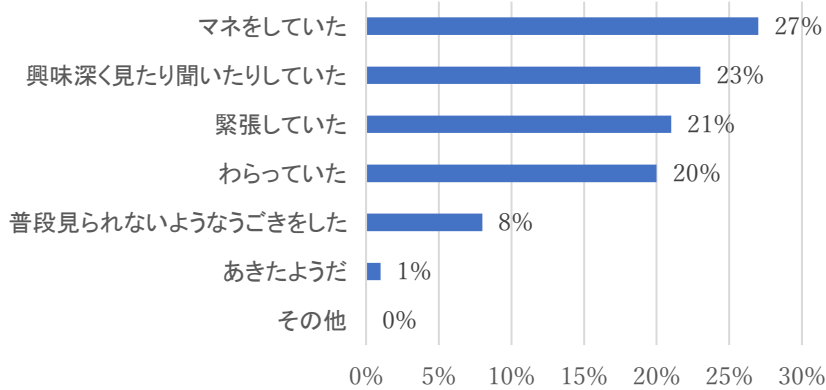
- ① コロナによって外部の人との接触できなかった子どもたちは、最初は緊張していたが、徐々に体の力が抜けプロの素晴らしい力量コミュニケーション力により興味深く見たり聞いたりマネをしたりとても刺激的な時間だった。ダンスあそびでは音が鳴ると耳を傾け自然に体を動かし、どんどん引き込まれていった。ふれあいあそびでは、「なんだろな？なんだろな？」と楽しみながら考え、リスさんのお話で自分もどんぐりを拾って口いっぱいにした子もいた。100%の子どもたちが、とても表情が豊かになり、保育士さんから離れない子どもも目よく見て参加していた。このような安心できる環境のもと、ゆったりと微笑みながらのワークやあそびは、将来生きていく力となる非認知力を育む体験となり、保育士さんも大事さを感じた。
- ② 保育士さんは、緊張していた子どもたちが少しずつほぐれていき、自ら参加できるまでになった変化に驚かされ保育士さんも心が温かくなった。子どもたちが、様々な経験ができた事が保育士さん自身も嬉しくなり、このような新しい遊びのプログラムを日々の保育の中に取り入れたいと思った。
- ③ コロナが、5類になり生活が以前のように戻ってきた今年度。県内7か所の乳児院に働きかけた赤い羽根共同募金助成金や寄附金により、千葉県内の乳児院3か所に施設の費用負担なく、プロによるワークショップを届けられた。

●保育士・施設スタッフのアンケートから

自由記述から

*子どもたちもすごく楽しそうで、私自身も勉強になりました。*ダンス中は緊張した様子で普段の様子がみられないことが、多かったですが、お部屋に戻ると「今日、楽しかったね!」「〇〇やったね!」とお話をしてくれて、歌も口ずさんでいて、実は楽しんでいたみたいで、こちらも嬉しくなりました。*緊張して全身に力を入れて、頑張っていた子どもが、徐々に体の力が抜けて、やわらいでいく様子や子どもの表情の変化に驚かされました。コミュニケーションのとり方も学びました。

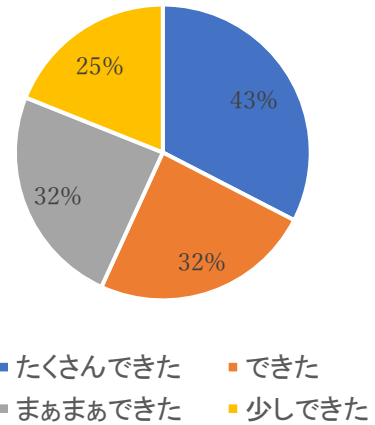
子どもたちの表情についてどうですか？ 複数選択52



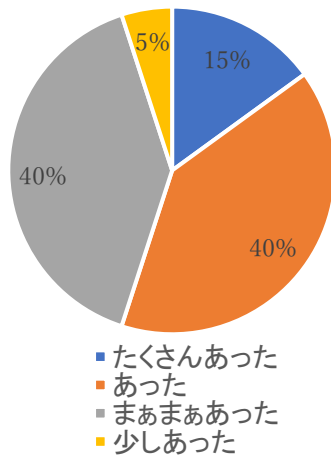
ダンスでは、興味深く見てマネをして楽しんでいた50%。半数以上の子どもたちがニコニコ笑顔で楽しんでいる。部屋に入って来た時は、知らない人がいて緊張していたが、だんだんに笑顔になり楽しみ、普段できないと思っていた動きを音楽に合わせて楽しんでいた。

たくさん参加できた43%、半数以上の75%の子がかなり参加し楽しめた。25%の子が保育士さんに抱っこされたりお膝の上で参加したり目で追って少し参加した子もいた。お部屋に戻ってから、「〇〇やったね!」。とお話してくれた。ぜんぜん参加しなかった子はいなかった。

どのくらい参加できましたか？



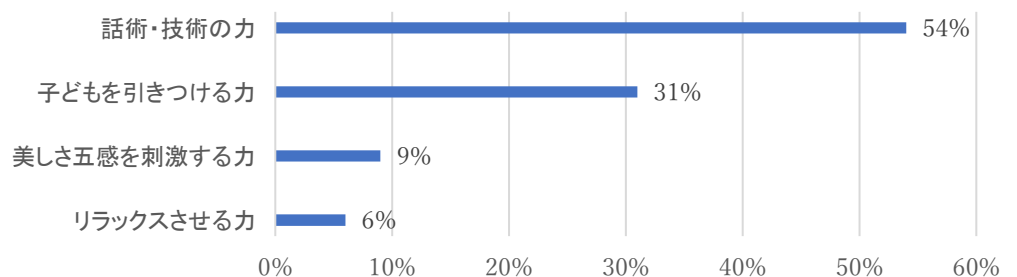
やってみたいプログラムはありましたか？



やってみたいプログラムあったと感じたのは、ほとんど90%以上。体を動かす遊びや子どもたちの創造力をかきたてるプログラムを見つけたと言える。これをきっかけに、施設でのあそびが豊かになり楽しい時間を過ごすきっかけになった。

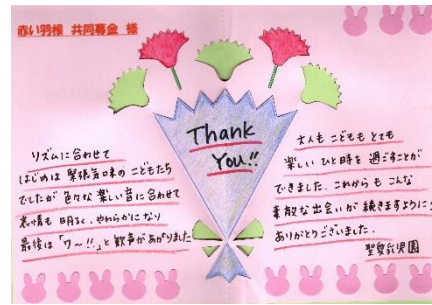
プロの話術技術の力を感じた人は54%そして、子どもたちをひきつける力を感じた人は31%リラックスさせる力を感じた人は6%。100%の保育士さんがプロの力を感じ、これからの保育に役立てたいと思った。

芸術的なプログラム、プロの力を感めましたか？

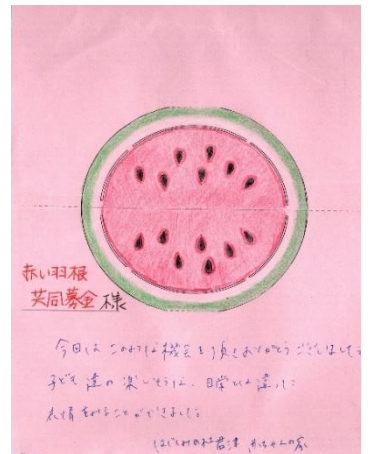


3か所の乳児院から届いた手作り「ありがとうカード」

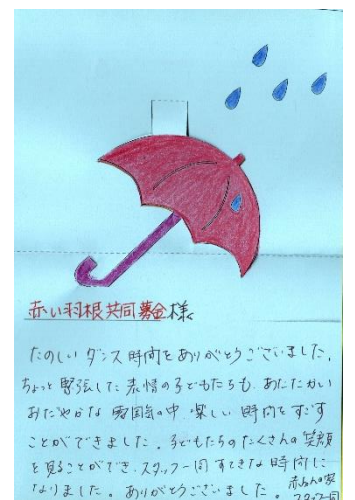
- 職員以外の大人と触れ合う貴重な時間となりました。ありがとうございました。また、機会がございましたら、よろしく願いいたします。
- 音楽が流れ、それに合った動きを真似て、緊張していた子も笑顔を引き出してもらい体も沢山動かし、楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。
- リズムに合わせて、はじめは緊張気味の子どもたちでしたが、色々な楽しい音に合わせて表情も明るくやわらかになり、最後は「ワ〜!!」と歓声があがりました。大人も子どももとても楽しいひと時を過ごす事ができました。これからもこんな素敵な出会いが続きますように!!ありがとうございました。(聖愛乳児園)



- 今回は、このような機会を頂きありがとうございました。子ども達の楽しそうな日常とは違った表情を見ることができました。
- 楽しいダンス時間をありがとうございました。ちょっと緊張した表情の子どもたちも、あたたかいおだやかな雰囲気の中、楽しい時間を過ごす事ができました。子どもたちのたくさんの笑顔を見ることができ、スタッフ一同すてきな時間になりました。ありがとうございました。
- 普段人見知りする子にも、笑顔がたくさん見られていて、とても楽しそうにしていました。我々スタッフも子どもたちと一緒に踊ったりと貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。(はぐくみの杜君津赤ちゃんの家)



- 楽しかったです。また来てください。ありがとうございました。
- 素敵な時間をありがとうございました。(乳児院イーハートブ)





実施施設：はぐくみの杜君津赤ちゃんの家

プログラム名：「みんなでいっしょにダンスあそび」



実施日時：2023年8月29日（火）①10：00～10：20 ②10：30～11：20

参加者数：総数23人

① 乳幼児12人（0歳：2人1歳：4人2歳：3人3歳：2人4歳：1人）

② 大人11人（保育士：10人 施設関係者：1人）

スタッフ数：パフォーマー1人（安西真幸 通称まあちゃん）

コーディネーター2人（桑原信子 鈴木佳子）

【プログラム内容】

1回目♪幸せなら手をたたこう♪どんぐりころころ♪アブラハムの子♪ベビーシャーク♪擬音「キュッキュッ・プクプク・ビヨ～ンビヨ～ン・ミャ～オミャ～オ」・風の音ビュ～ンビュ～ン（白い大きな布を使用）♪さんぽ
2回目♪幸せなら手をたたこう♪どんぐりころころ♪アブラハムの子♪ベビーシャーク♪擬音「キュッキュッ・プクプク・ビヨ～ンビヨ～ン・ミャ～オミャ～オ」・風の音ビュ～ンビュ～ン（白い大きな布を使用）♪さんぽ♪エビカニクス♪ジャンボリミッキー

【当日の様子】

1回目（0.1歳）：保育士さんの膝の上で、音楽を聞きながら、まあちゃんの言葉がけや動きに反応していた。保育士さんから離れることはなく、安心した様子だった。まあちゃんもキュッキュッの音では優しく、子どもの頭やおでこ手や足などをそっとさわっていた。ネコの鳴き声ではネコの手のように指を丸めて子どもに触れていた。それぞれの保育士さんも楽しそうに笑っていて、子どもに寄り添っていた。

2回目（2歳以上）：今日のワークショップを待っていてくれて、廊下にいる時からのぞき込んで目をきらきらさせて入って来た。音楽に合わせて動く子ども、うれしくて勝手に動き回る子ども、私達スタッフやまあちゃんに言葉でなく指示しコミュニケーションを取る4歳児。固まって保育士さんの膝の上から離れない子どももいた。時間が経つにつれて、子どもが自分から動き出しダンスをしている様子が数多く見られた。白い布の風を怖がっていた子どもが、自分が保育士さんと一緒に白い布を手を持ち風の演出。満足した顔だった。保育士さんから離れない子どもも目で他の子どもやまあちゃんをよく見て参加していた。普段からやっている♪エビカニクス♪ジャンボリミッキーの曲では自信を持って踊り出す子も。白い布が「へび」に見え、へびに遊びが展開していった。最後には子どもから「も～1回」のリクエスト。「も～1回」を三回繰り返して子どものリクエストに応えた。20分以上オーバーして終了した。

【施設関係者からの声】

*子どもたちもすごく楽しそうで、私自身も勉強になりました。ありがとうございました。*緊張している様子の子もいましたが、みんな楽しんでいる様子でした。今日行ったダンスを、また子どもと一緒にやってみようと思いました。*説明されている時の声量、明るさ、笑顔が素晴らしくて、とても楽しく参加させていただきました。*ダンス中は緊張した様子で普段の様子がみられないことが、多かったです。お部屋に戻ると「今日、楽しかったね!」「〇〇やったね!」とお話をしてくれて、歌も口ずさんでいて、実は楽しんでいたみたいで、こちら嬉しくなりました。子どもたちが、様々な経験をできたようで本当に良かったです。ありがとうございました。



実施施設：イーハトーブ乳児院

プログラム名：「なんだろな？なんだろな？」



実施日時：2023年10月11日（水）10：00～10：40

参加者数：総数24人

① 乳幼児12人（0歳：4人1歳：4人2歳：3人4歳：1人）

② 大人12人（保育士：4人看護師：1人施設関係者：3人）

スタッフ数：パフォーマー1人（うさぎの森企画 大森靖枝 通称おーちゃん）

コーディネーター2人（桑原信子 鈴木佳子）

【プログラム内容】

・クマちゃんのズボン（ぬいぐるみのクマがズボンの着替え歌声にあわせて♪こっちの足にこっちのズボン♪あれ？うまくいかない）・なんだろな？なんだろな？「りんごとぞうさん」「にんじんとうさぎさん」すこしずつ絵が見えてくるわかったところで「ゾウさん」と大きな声で子どもが反応。・りすさんとドングリりすが落ちていたドングリお口の中にポイ。両方のほっぺが大きく膨らんだ。♪ドングリドングリどんどん♪・マヨネーズの空き容器の笛の演奏♪「チューリップ」♪の歌をみんなで歌う。・おうちゃんの劇あそびみわちゃんからバイク便がとどきました～お手紙に入っていたうさぎさんとクマさんとさんぽへ♪おさんぽ、さんぽ1・2・3♪♪おさんぽ、さんぽ1・2・3♪かみなりゴロゴロ雨がザーザー虹が出て「またあしたあそぼうね～」・ピアノにあわせておどろう～おーちゃんの演奏に合わせておどろう・手作りおもちゃで遊ぼう

【当日の様子】

0歳児の赤ちゃんは保育士さんに抱っこされて、1歳以上は保育士さんと歩いて2階の会場にやってきました。会場に入って泣いた子どもひとりもあつとう間におうちゃんの世界に引き込まれて、いきました。おうちゃんのアシスタントは保育士のなおちゃん白いベレー帽がよく似合います。つぎつぎと繰り出される人形やおしばい劇ごっこに子どもたちも参加して声をだしたり、真似っこしていました。最後の手作りおもちゃは大人気。可愛い瓶や楽器をならしたり、楽しんでいました。保育士さんも声を出して歌を歌ったりしぐさをまねしたり、子どもと一緒に楽しんでいました。保育士さんからは「外部からの人になじむのが今までで一番早かった。自然な感じだった。」「子どもがあんなにぐいぐい来るとは思わなかった」「おーちゃんの舞台に集中して、バイクにのったり真似っこしたり楽しんでいた」と声がよせられた。

【施設関係者からの声】

*ありがとうございました。楽しかったです。

*とても面白かったです。

*とても楽しめました。

*素敵な時間をありがとうございました。

*子どもたちの笑顔がいっぱいでした。



実施施設：聖愛乳児園

プログラム名：「みんなでいっしょにダンスあそび」



実施日時：2023年10月30日（月）①10：00～10：40 ②10：50～11：10

参加者数：総数 17 人

乳幼児 11 人(0歳：2人1歳：6人2歳：2人3歳：1人)

大人 6 人(保育士：4人施設関係者：2人)

スタッフ数：パフォーマー 1人(安西真幸通称まあちゃん)

コーディネーター2人(桑原信子 鈴木佳子)

【プログラム内容】

♪幸せなら手をたたこう♪どんぐりころころ♪アブラハムと七人の子♪ベビーシャーク♪バナナ♪エビカニミクス♪不思議な音(キュッキュッ・プクプク・ビヨ～ンビヨ～ン・ニヤ～オウニヤ～オウ・風が吹いてくる音)♪からだ☆ダンダン(NHKのおかあさんといっしょ)♪さんぽ♪ジャンボリミッキー
風の際は白い布が出てきて会場の中で行ったり来たり

【当日の様子】

会場に来たときは、保育士さんにしがみついて泣いていた子どもも徐々に安心して笑顔になり参加しはじめた。音楽に合わせて、体をゆすったり、タッチしたり、保育士さんのお膝の中でまあちゃんのリードの下にはじまる。音楽に合わせて、少しずつまあちゃんの真似をしはじめる。「幸せなら手をたたこう」音楽に合わせて手を動かしたり足をうごしたり。子どもたちはハイタッチが大好き、色々な場面で保育士さんまあちゃんスタッフともハイタッチした。ビヨンビヨンの音ではカエルの真似。風の音では白い布をみんな笑いながら風をおいにかけていた。保育士さんからも「自分から動き出すのは去年は少なかったと思う。ワークショップでの子どもの様子が最初と最後では全く違って、変化と成長を子どもの力を感じる。自分の気持ちで手をたたいている。子どもたちから動き出す力、自分たちも勉強になる」と話していた。3回目の1歳児は保育士さんにしがみついて泣いたり様子をみたり。保育士さんは「誰にでもにこにこするより、他者と保育士と違うことを認識しているのでとても良い発達だと」話して肯定的にとらえていた。

【施設関係者からの声】

*開始からかなり緊張していた子が少しずつほぐれ、少しですが自ら参加できるまでになり、嬉しくなりました。*緊張して全身に力を入れて、頑張っていた子どもが、徐々に体の力が抜けて、やわらいでいく様子や子どもの表情の変化に驚かされました。コミュニケーションのとり方も学びました。これからも定期的にやってほしいです。*事前にもう少し打ち合わせができれば(こちらの準備が必要だが)部屋の中を明るく楽しそうな飾り付けなどができたと思います。お面等小道具があっても良かったかと思います。*月齢や発達に応じて実施するプログラムを別の物にさせていただけると、より子どもたち養育者共に楽しめると感じました。年間1回ではものたりないと感じるほど楽しかったので、実現できる方策を模索したいと思います。



令和5年度千葉県赤い羽根
共同募金 実施報告書